



株式会社 七宝

【会社概要】

創 業：1952 年

設 立：1972 年（昭和 47 年 7 月 5 日）

資 本 金：3,000 万円

代 表 者：代表取締役社長 三野 求

社 員 数：43 名

事業内容：タマネギの品種改良ならびに種子の生産販売及びこれに付帯する事業

所 在 地：本 社 香川県三豊市豊中町岡本 2412 番地 2
北海道支社 北海道上川郡比布町南 1 線 7 号



【企業紹介】

タマネギ種子生産の産地化を図るために、豊中町内のタマネギ栽培農家が集まって七宝玉葱採種組合を設立いたしました。当時のタマネギ農家は、タマネギの生産をするためには自らが種子を採って生産していましたが、その煩わしさの解消と、品種改良を行うことによって、品質を向上させて安定した収量をとることができるタマネギ種子を販売することを目的に事業を始めました。事業開始後、大被害をもたらす病原菌の感染を防ぐ栽培技術



の開発やタマネギ一代雑種（F1）の開発により七宝の評価が高まり、主要産地からのタマネギ種子の注文が増えてきました。1972年に七宝玉葱採種組合の品種改良部門と営業部門を分離して株式会社七宝を設立いたしました。今年で50年を迎えることとなります。一つのF1品種の開発には最短でも15年以上の年月が必要です。品種開発のために毎年2000ほどの交配試験を地道に重ね、地域の特性に応じた品種として約20種類を独自に開発し販売しています。全国タマネギ産地における現在のシェアは75%くらいです。国内のタマネギ農家へ優れた種子を供給し、安価な輸入品に負けない国内タマネギ生産の確立をめざしています。

【安全衛生活動】

種子と人は共に生物であり、温度や湿度が働く人と種子にとって最適な環境になるように設定して作業を行っています。照明も事務所はLEDに交換して明るくし、作業が効率よく安全に出来るように努力しています。日々整理整頓につとめ清潔で明るい職場を心がけています。年一回の定期健康診断を行い、感染症等については季節折々に朝礼にて注意と喚起を行っています。農場で行う作業は、天候に応じて疲労度が異なりますので、規定の休憩以外に休憩を取るようにしています。今年は加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めています。防止策としてマスクの着用や3密を避けるとともに、感染拡大地域への不要不急の県外移動は慎重に検討しています。これからも社員の健康管理に努め、明るい安全な職場づくりをめざしてまいります。